

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 7名回答、回答率 100%
保護者様： 24名回答、回答率 80%

職員の意見

○環境・体制整備

法令上の人員配置基準以上の人員を配置しており、安全管理には十分に配慮することができている。職員の病欠などが発生した際には法人内で調整するなどの工夫に努めているが、児童の特性を踏まえた個別対応という点において一部の職員への負担の偏りが生じることもある。

○業務改善

教室全体では、業務前ミーティングの充実や、事故・ヒヤリハット報告書についての対応策検討・共有、業務の安全かつ効率的な方法の検討、個別課題検討などが昨年度よりできている。個々人のスキルアップと合わせ、引き続き改善に努めていく。

○適切な支援の提供

研修実施・活動プログラム作成・個別支援の意識・策定会議などは力を入れて取り組むことが出来ている。業務前ミーティングでは、児童の対応について細やかに共有し、より良い支援の提供に繋げることができた。地域との交流は保護者のニーズに合う交流方法の検討・取り組みができず課題が残った。児童クラブとの交流は希望されない保護者の方が多いので、地域の図書館などの施設を利用するなど、保護者の方のニーズを確認しながら取り組みたい。

○関係機関や保護者との連携

日頃から送迎時など直接児童の状況を伝えあい、家庭連携・事業所内連携に取り組むことで、問題の共有・検討やアドバイスができている。葛飾区の放デイ連絡会にも定期的に参加し、連携が取れている。医療的ケアやアレルギー対応については、現在必要とする利用者がいないが、今後必要となれば、体制を整えたい。

○保護者への説明責任等

契約前後に丁寧な説明をするほか、変更時や質問があればその都度説明に努めている。保護者会も開催できたが、実施回数を増やしたり他の方法も検討していきたい。虐待防止関連の取り組み、苦情についての対応、その他対応の変更点などの情報の周知は、今後ニュースレターも活用して取り組みたい。

○非常時等の対応

緊急時の対応についてマニュアルをもとに、児童に合わせた対応方法等を検討していきたい。より実践的な訓練・準備の見直しを早急に対応する。緊急時、対応が必要な保護者の方には都度丁寧な説明を心がけているが、関りが少ない保護者の方への説明、具体的な対応策の周知に課題が残る。虐待防止について、年2回の研修とミーティング等でも虐待防止の観点で情報共有・方針の共有ができている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

活動等のスペースが十分に確保されているかの問いに対して、83%の方に「はい」とお答えいただいたが、「床が汚れているのか、靴下が汚れる」という意見もいただいた。職員の配置数や専門性について、「かなりの専門性があるかと思う」とお答えいただいた。バリアフリー化の配慮について、「教室内は広いが、玄関が狭い。ビルの入口のスロープも狭く駐輪があると危ない」という意見をいただいた。

○適切な支援の提供

個別支援計画について、87%の方に良い評価をいただいたが、なかには「本人の課題に合わせた計画はたてられていないかもしれない」との意見もいただいた。活動プログラムについても、91%の方に満足いただけている結果であった。「事業所内連携のおかげで共通理解が来ている」「放課後クラブ等との交流は希望しない」という意見もいただいた。

○保護者への説明等

支援内容・利用者負担の説明、児童の状況・課題の共有、面談や助言等の支援について、9割以上の方に良い評価をいただいた。保護者の交流について、54%の方が「どちらともいえない・未回答」との回答だったので、今後定期的に保護者の方の交流の場を作りたい。苦情対応ができていくかについて、66%の方に「はい」とお答えいただいたが、一方で「そのような場面に遭遇しておらず、何とも言えない」というご意見もあったため、今後は保護者からのご意見を踏まえた事業所内での改善への取り組みをしっかりと周知していきたい。

○非常時等の対応

非常時等マニュアルの周知・訓練について、7割の方に適切に対応しているとの評価をいただいた。今後はより保護者の方に分かりやすい形で、マニュアルや訓練の内容をお知らせしていきたい。

○満足度

87%の方に「通所を楽しみにしている」「支援に満足している」とお答えいただいた。なかには、「特性上あまり楽しめていない」という意見や土曜日の預かり時間について意見をいただいた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・非常時の対応について、利用者に詳細に周知する。
- ・課外活動を安全に配慮して実施する。
- ・保護者会を実施する。
- ・苦情の対応策をお知らせし、透明性を担保するよう検討する。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・非常時の対応について、保護者会で周知したが、より詳細なものを保護者全員へ周知したい。
- ・長期休みに課外活動を安全に実施した。今後も続けていきたい。
- ・コロナの5類移行から、迅速かつ安全に配慮し保護者会を開催した。
- ・苦情の対応策や虐待防止関連の周知について、必要に応じてお伝えはしていたが、全体への周知においては課題が残った。今後はニュースレターを活用して取り組んでいく。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・長期休みでは集団療育の充実を図り、それ以外にもラジオ体操やわらべ歌遊びなど様々なプログラムを用意し、充実させており、保護者からも高評価をいただいている。
- ・送迎時の情報共有や家庭・事業所内連携で、児童に対する共通理解が図れている。
- ・策定会議や業務前ミーティングでの児童に対する情報の共有が出来ており、個別課題の作成や対応にも力を入れている。
- ・保護者への説明が丁寧に行われている。

○改善点

- ・床の黒ずみについては、清掃業者への依頼も検討してより良い環境作りに取り組む。
- ・苦情対応の保護者全体への周知が不十分のため、周知する方法を検討していきたい。
- ・地域との交流が出来ていないため、保護者のニーズに合わせて地域施設の利用などを検討する。
- ・保護者同士の連携を図る機会が少ないため、保護者会やそれ以外の場を検討する。
- ・非常時対応についての保護者への周知が不十分のため、利用者にわかりやすい形で周知を進める。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・壁紙や床、窓などの基本的な環境整備に努め、よりよい環境作りに取り組む。また、整備の状況についても保護者への周知を行い、満足度の向上を目指す。
- ・児童それぞれの個性を尊重しながら、それぞれが主体的に活動できるように構造化を進めていく。
- ・利用者が安心して利用できるよう、積極的な情報開示の場や機会を設けて透明性の高い事業所運営を目指していく。

○1年間で取り組む具体策

- ・虐待防止関連の研修への参加状況、苦情への対応策、その他変更点の情報など、教室の取り組みを知ってもらうために、ニュースレターを活用して周知していく。
- ・保護者会を定期的に開催し、対応についての透明性を担保するとともに、保護者同士の情報共有ができるようにする。
- ・避難場所の小学校までの避難や、消火器等の使用方法を確認するなどより実践的な避難訓練を検討し、職員の対応スキルの向上に務める。
- ・災害時対応についてブログで避難訓練の様子を掲載したり、お便りにまとめて配布する等利用者に分かりやすい形で共有、周知を行っていく。
- ・個別課題の検討に引き続き取り組み、支援力の向上を図る。
- ・保護者のニーズを確認しながら、近隣の公共施設を活用した課外活動を取り入れ、地域とのかかわりを持つ機会を増やしていく。